第８講　全国的武家政権の確立と衰退

PART3 内乱と一揆の時代

Chapter１　守護大名の支配と内乱

目標
守護大名と呼ばれる守護も出たのはなぜだろう。
1441年時点で統一政権としての室町幕府に起こっていた状態を知ろう。

1　守護大名の支配と国人

①〔1　　　　　　〕の登場

南北朝の動乱の中で，〔2　　　　〕や地侍など地方武士の力が増大してくると，彼らを国ごとに統括する守護が大きな役割を担うようになった。

A　**守護の権限強化**→司法権を追加

大犯三カ条に**刈田狼藉の取締り権・使節遵行権**を追加。

B　〔3　　　　　　〕（**1352年**，観応半済令）

南北朝動乱下の軍費調達のため，守護に近江・美濃・尾張３国における荘園・公領の年貢の半分を兵粮米として徴収する権限を認めたもの（のち土地を折半）。

※期限は一年限りだがのち永続化，地域もやがて全国化した。

ただし，皇室領・殿下渡領・寺社一円領には適用せず。

C　〔4　　　　　　〕

動乱が続く中，荘園・公領の年貢徴収を守護が一括して請け負い，領主は経営から手を引くことも多かった。

D　守護から守護大名へ

守護は半済令・守護請を通じて荘園・公領内の諸権利を獲得，それらを地方武士に分与することにより被官化を進めた。結果，荘園領主・知行国主は有名無実化し，強大化した守護は**守護大名**と呼ばれることもあった。

☆14世紀末には，一国全体に及ぶ地域的支配体制である**守護領国制**が成立。

国衙の機能は**守護代**のいる守護所が吸収。

独自の守護法を制定し，守護役を徴収した。

②〔5　　　　　　〕

守護大名は幕府権力を背景に地方武士を取りまとめてはいたが，

土地を媒介とした厳密な主従関係を結んだわけではなかった。
自立的気風の強い国人たちの中には，
自らの領主権を守るため一味神水の儀式により**一味同心**し，
傘連判で平等を強調した一揆契状を結び，
守護領国制に抵抗するものもあった。

足利義持

2 内乱の頻発

①**4代将軍足利義持**→子の5代将軍義量が早逝後は後継を決めず出家して政権を担当
1416年～上杉禅秀の乱（～17年）
※鎌倉公方足利持氏の要請を受けた幕府が，
鎌倉府の内紛に乗じて反乱を起こした前関東管領上杉禅秀〔氏憲〕を討伐。
②**6代将軍**〔6　　　　　　　　〕→天台座主が「くじ引き」の結果還俗して将軍となる
1438年～〔7　　　　　　　　〕（～39年）
※**6代将軍義教・関東管領上杉憲実**が，**鎌倉公方足利持氏**を討伐。
1440年～結城合戦（～41年）
※幕府軍＋関東管領上杉憲実が結城氏朝（足利春王丸・安王丸を擁立）を討伐。
1441年　嘉吉の変〔嘉吉の乱〕
※播磨国守護**赤松満祐**が「万人恐怖の世」と評される専制を行った
6代将軍義教を謀殺。山名持豊〔宗全〕らの幕府軍が赤松氏を追討した。
③**8代将軍**〔8　　　　　　　　〕
兄の7代将軍義勝が早逝し将軍を継ぐが，
のち政務を放棄し東山山荘〔東山殿〕に〔9　　　　〕を造営するなど浪費を続ける。
1454年～**享徳の乱**（～82年）→関東は戦国時代に突入
※関東管領上杉憲忠を謀殺した**鎌倉公方足利成氏**が，幕府軍に追われる。
※鎌倉公方は〔10　　　　　　　　〕（**足利成氏**）と
〔11　　　　　　　　〕（**足利政知**）に分裂，
関東管領上杉氏も**山内上杉氏**と**扇谷上杉氏**に分裂。
1459年～長禄・寛正の飢饉（～61年）→中世最大の飢饉
1467年～〔12　　　　　　　　〕（～77年）→全国的に戦国時代に突入

まとめ
守護の権限が強化され半済令・守護請を通じて，守護大名へと成長した。
1441年時点で，京・鎌倉で両公方を欠くという事態が幕府で起こっていた。

Chapter 2　一揆の多発

目標
惣村が登場した背景について知ろう。
一揆の種類について知ろう。

1　惣村

①**惣〔惣村〕**

自然村落の自立的・自治的結合。

鎌倉時代後期に畿内やその周辺に発生，南北朝時代以後に全国化。

A　背景

鎌倉時代の生産力向上による独立小農民の成長（＝作人が小名主に成長）。

入会地の入会権や用水問題に関する結合の必要性。

※荘園領主や国人の不当な要求への対抗や，戦乱に対する自衛もあった。

B　惣〔惣村〕の構成→惣百姓

おとな〔長・乙名〕・沙汰人と呼ばれる有力名主の代表者が村長の役割を果たす。

②惣〔惣村〕の運営→結・もやいと呼ばれる共同作業を行う

A　〔1　　　　〕⇒村民の会議

宮座（上層農民たちの祭祀集団）が主導。

惣掟〔村掟・村法〕を定め違反者は地下検断〔自検断〕により追放。

※鎮守の祭礼や入会地・用水の管理・整備を行い，独自の村役を課すこともあった。

B　**地下請**〔村請・百姓請〕

領主に納める年貢を惣全体の責任で一括して請け負う。

③惣荘・惣郷

複数の惣が荘園・公領ごとに結合・発展し，より大規模な自治組織も生まれた。

これらは領内の枠を越えて相互に連帯する場合もあった。

④惣百姓＝土民たちの抵抗

一味同心し〔2　　　　〕を結ぶ（＝**土一揆**）。不法荘官・代官の罷免，

水害・冷害・干害時の年貢減免，関所の撤廃，徳政令発布などを，

愁訴・強訴・逃散などの手段で要求した。

※指導者の中には守護大名などと主従関係を結び，**地侍**となる者もあったので，

荘園領主や国人の年貢徴収は次第に困難化した。

2 一揆の多発

蓮如

①**土一揆**（庶民による一揆）

1428 年 〔3 〕

—尋尊『大乗院日記目録』・柳生の徳政碑文—

※近江国坂本の馬借の蜂起が発端。足利義教が６代将軍に就任直前の京内に乱入，酒屋・土倉・寺院を襲撃し畿内各地で私徳政を実行。

1429 年 **播磨の土一揆**

※守護赤松満祐に「侍をして国中に在らしむべからず」と抵抗。

1441 年 〔4 〕

※土民勢力が嘉吉の乱に乗じ“代始めの徳政”を要求，幕府は初の徳政令（山城一国平均）を発布。以後, 分一銭獲得のために分一徳政令や徳政禁制令を濫発。

②〔5 〕（国人一揆と土一揆が**一国単位**で結合）

1485 年 〔6 〕 —尋尊ら『大乗院寺社雑事記』より—

※両畠山軍（政長・義就）の南山城退去，寺社本所領の還付，関所の新設停止の３点を要求。国人の月行事〔36 人衆〕らによる**自治が８年間続いた**。

③〔7 〕（一向宗〔浄土真宗〕の僧・門徒による一揆）

1488 年 〔8 〕

※**本願寺８世蓮如**が，**越前国吉崎**を拠点に**講**を組織し惣を直接掌握，平易な**御文〔御文章〕**を用いて布教。

※加賀国守護**富樫政親**を滅ぼして富樫泰高を擁立，約１世紀にわたり自治支配を続けたが，1582 年，織田信長により討滅される。

④**法華一揆**（京都町衆の日蓮宗徒による一揆）

６代将軍義教の頃（15 世紀前半），**日親**の戦闘的な布教が商工業者の信者を生み出す。

1532 年 **法華一揆**

※京都を戦火から守るため一向一揆の山科本願寺を焼打ち。

1536 年 **天文法華の乱**

※比叡山延暦寺と六角氏（近江国）による, 京都の日蓮宗 21 か寺の焼打ち事件。法華一揆は一時的に京を追われた。

まとめ
惣村は，生産力の向上と，戦乱への自衛の必要性を主な背景に登場した。
一揆には土一揆・国人一揆・国一揆・一向一揆・法華一揆などがあった。

第 8 講　PART 3　確認問題

1　「くじ引き」の結果，天台座主が還俗して室町幕府 6 代将軍となったのはだれか。

① 足利義政　② 足利義教
③ 足利義持　④ 足利義勝

2　1438 年に東国で起こった乱で，討伐されたのはだれか。

① 足利持氏　② 足利基氏
③ 足利氏満　④ 足利成氏

3　1441 年に起こった乱で，室町幕府 6 代将軍を謀殺した有力守護はだれか。

① 上杉禅秀　② 上杉憲実
③ 山名持豊　④ 赤松満祐

4　室町幕府 8 代将軍の時代に東国で起こったのはどれか。

① 永享の乱　② 嘉吉の変
③ 享徳の乱　④ 上杉禅秀の乱

5　惣村における有力名主の代表者の呼び名として**誤っているもの**はどれか。

① 沙汰人　② 乙名
③ 長　④ 宮座

6 国の南部から両畠山軍を退去させて，
国人による自治的支配を実現したのはどこか。

① 山城	② 近江
③ 大和	④ 伊賀

7 加賀の一向一揆で，滅ぼされた守護はだれか。

① 宗貞茂	② 大内義弘
③ 富樫政親	④ 赤松満祐

8 次のうち，最初に起こった一揆はどれか。

① 嘉吉の徳政一揆	② 天文法華の乱
③ 正長の徳政一揆	④ 播磨の土一揆

第 8 講　PART３　確認問題 解答

1 解答：②　①の**足利義政**は８代将軍，③の**足利義持**は４代将軍，④の足利義勝は７代将軍。

2 解答：①　1438 年に東国で起こった乱は**永享の乱**で，６代将軍義教・関東管領上杉憲実が，鎌倉公方であった足利持氏を討伐した。

3 解答：④　1441 年に起こった乱は**嘉吉の変〔嘉吉の乱〕**で，赤松満祐は播磨国の守護。①の上杉禅秀は 1416 年に乱を起こした。②の**上杉憲実**は関東管領で，**永享の乱**で鎌倉公方であった足利持氏を討伐した。

4 解答：③　①の永享の乱は 1438 年・②嘉吉の変は 1441 年でともに６代将軍義教の時代に，④の上杉禅秀の乱は 1416 年４代将軍義持の時代に起こった。

5 解答：④　**宮座**は，惣村における寄合を主導した上層農民たちの祭祀集団。

6 解答：①　**山城の国一揆**では，両畠山軍（政長・義就）の南山城退去，寺社本所領の還付，関所の新設停止の３点を要求し，国人の月行事らによる自治が８年間続いた。

7 解答：③　**加賀の一向一揆**では，守護富樫政親を滅ぼして富樫泰高を擁立し，約１世紀にわたり自治支配を続けた。

8 解答：③　①の**嘉吉の徳政一揆**は 1441 年，②の**天文法華の乱**は 1536 年，③の**正長の徳政一揆**は 1428 年，④の**播磨の土一揆**は 1429 年に起こった。